



(左から)
本山 桜大(おうだい)君
蒼天(そうま)君
結心(ゆうしん)君
新空(しんく)君

お父さんと一緒にバドミントンに励む本山兄弟

和水町でお父さんの指導を受けながらバドミントンに励む本山結心君(菊水中2年)、蒼天君(菊水小6年)、桜大君(菊水小5年)の3人にお話を聞いてきました。

経験者であるお父さんの勧めがきっかけではじめたバドミントン。結心君が小学校2年生、蒼天君が年長さんのときに一緒に「タマナジュニア」に入り、競技を始めたそうです。最初はクラブ内に知り合いがないことや、ハードな練習についていけるのかという不安もあったが、今では楽しく活動できているとのこと。また、一年後に桜大君が始めるときは、お兄さんたちがいてくれたので、安心してクラブに入れたそうです。

やりがいについて尋ねると、結心君は「実力が同じくらいの人と試合をするのが楽しい。先日、大会の決勝戦の大事な場面で、長いラリーを制して得点できたときはとても嬉しかったです。」と勝敗だけではなく、練習で積み上げてきたことを発揮できることの喜びについて、話をしてくれました。また、桜大君は「自分の調子が良く、動きが軽く感じられるときはとても楽しい。」蒼天君は「ダブルスを組んでいる友人と試合に臨んだり、試合を観戦したりするのがとても楽しいです。」

と3人とも、やりがいや喜びを感じながらバドミントンへ取り組んでいることがとても伝わってきました。

昨年末に行われた、「第31回全国小学生バドミントン選手権大会」にダブルスの九州代表として出場した蒼天君に、その時の感想を尋ねると、「相手は強かったけど、実力的には変わらなかったと思う。攻撃力は自分たちの方があったと思うが、レシーブの差で負けてしまった。」と、悔しそうではありましたが、試合の内容をきちんと分析し今後活かそうとする姿勢には、とても頼もしさを感じました。

3人の努力が実り、それぞれの目標を達成できることを願っています。

協力隊活動記 Vol.60

こんにちは。地域おこし協力隊の大木です。1月20日にJR博多シティで行われた移住相談イベント「アウトドアをルーティーンに」へ参加してきました。相談者の質問に答えたり、和水町の魅力や生活についてお話ししたりするなど、とても良い経験をすることができました。今後も頑張っていきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。